

## MRI / CT 造影剤使用説明書・同意書

あなたに今回受けていただく検査は [① MRI 造影検査・② CT 造影検査] です。

### ① MRI 造影検査 (ガドリニウム造影剤)

MRI 検査では、造影剤を使用する事により病変の検出率が一般的に高くなります。そのため診断や治療に有用と考えられた場合に造影検査が行われています。造影に際しましてはガドリニウムと呼ばれる金属を安全に加工した薬剤 (ガドリニウム造影剤) を静脈注射します。ガドリニウム造影剤は比較的安安全な薬剤と考えられますが、他の薬剤と同様に過敏症による副作用が出現する可能性があります。

\*ガドリニウム造影剤の副作用の種類と発生頻度

軽症：吐気、等麻疹など 500 人～1000 人に 1 人

重症：血圧低下、意識消失、呼吸困難など数万人に 1 人 (数十万人に一人が死亡)

### ② CT 造影検査 (ヨード造影剤)

ヨード造影剤は、X 線を用いた各種検査で広く使用されています。血管内に注射することにより、診断や治療に有用な情報を得ることができます。ヨード造影剤は比較的安安全な薬剤と考えられますが、他の薬剤と同様に過敏症による副作用が出現する可能性があります。

\*ヨード造影剤の副作用の種類と発生頻度

軽症：吐気、蕁麻疹など 100 人～200 人に 1 人

重症：血圧低下、意識消失、呼吸困難など 1 万～ 2 万人に 1 人 (数十万人に一人が死亡)

遅発性副作用：検査終了数分後から数日にかけて発疹、等麻疹、かゆみ、はきけ、めまい、発熱、むくみ等が現れることがあります。まれに、血管外に造影剤が漏れて腫れ、痛みを伴うことがあります。ほとんどの場合は時間がたてば自然に吸収されますが、漏れた量により処置が必要となることもあります。

\*ヨード造影剤とビグアナイド系の糖尿病薬との併用注意について

糖尿病薬のうち、ビグアナイド系の糖尿病薬を服用している方の場合、頻度としては稀ですが、乳酸アシドーシスという重篤な副作用が起こる事があります。乳酸アシドーシスは、初期症状として食欲不振、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢などの胃腸症状が急激に出現し、進行すると倦怠感、筋肉痛、痙攣、脱力感、腰痛、過呼吸、脱水、低血圧などを引き起こし、昏睡状態に陥ることもあります。万一の副作用を防止するためには、ビグアナイド系の糖尿病薬を服用している方は、**造影 CT 検査前 48 時間、検査当日、及び検査後 48 時間は服用なさらないでください。**この間これらの糖尿病薬を服用しない事により血糖値が一時的に上昇する可能性があります。

## 造影検査同意書

私は、今回検査における造影剤の必要性和副作用の可能性について説明を受け、理解しました。

私は、造影剤の投与を受けることに同意します。万一、副作用が現れた際には必要な処置を受けることに同意します。

藤沢湘南台病院 院長 殿

年 月 日

本人 印

家族又は代理人 続柄 ( )

医療機関名称

説明医師